



であなたの手元に届くwebマガジン

おばこ稲作情報



2022年4月
No.23

JA秋田おばこ



苗焼け注意報

立枯れ病注意報



今年は寒暖差が大きい日が続いています。寒暖差が続くと育てる人も具合が悪くなりますが、育ってくる籾の方も具合が悪くなってきます。

苗焼け、立枯れ病が出やすい天気となりそうですので、防除していたとしても注意深く観察をして、適切なハウス管理をしましょう。

苗焼け

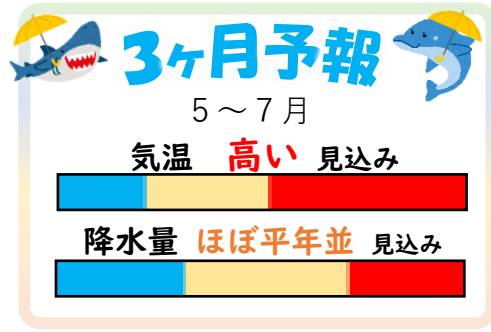
緑化期までは苗焼けに警戒を続けてください。床土温度が30℃を超えないようにハウス開閉するなどして管理をしてください。

立枯れ病

農業を床土混和したり播種時に散布したりしていても、環境によっては発病します。多くはカビが原因菌ですので、カビが出るような蒸し蒸し、ジメジメとしたような環境はNG。過かん水も避けましょう。人がハウスに入って暑い、蒸れるなど感じたら、適宜換気をしてください。

気温が高い予報のため、苗の生育が進む可能性アリ。過保護にせず、積極的に換気をして温度管理を。合わせて田んぼの準備は、丁寧に行うこと。

～耕深15cm確保、丁寧な代かき～



5～7月までの3ヶ月予報が発表されました。期間中の気温は「高い」と予報されました。初期生育が良くなると考えられますが、雑草生育速度が早まる、ワキが起こりやすくなるなどの悪影響も予想できます。いまから、できることをこつこつと行っていきましょう。

レッツSDGs!
小さなことからコツコツと



堆肥などの有機物を散布することで土中の微生物相を豊かにできます。これらを組み合わせて地力を豊かにすることで、環境負荷の軽減が期待できます。



LINE公式アカウント

「@ja-obako」で検索 稲作情報発信中！
友だち登録をお願いします。



稲作情報が
あなたの手元に!

メルマガも始めました

